

「北京+20」に向けて～新たな優先課題について～聞く会（第2回）

大崎麻子(関西学院大学、Gender Action Platform)

1. 根源的なジェンダー課題 ～無償ケア労働、暴力、資源へのアクセス、意思決定への参画～

- 日本の ODA による支援の「インパクト評価」

例： UNDP/日本 WID 基金によるプロジェクト。ケアエコノミー、ジェンダー予算、マクロ経済政策のジェンダー分析、女性の政治参加促進、ICT の活用。

- 日本の支援から生み出された知見・教訓を踏まえたうえでの新た「提言」

2. 自然災害とジェンダー

- CSW 決議「自然災害とジェンダー」(日本の政策的リーダーシップ)

- 東日本大震災の経験と教訓を「CSW 決議の枠組み」で整理し、共有・発信・提言。

例： オックスファム・ジャパンによるエンパワーメント型支援（脆弱性の高いグループへの支援、専門的知見・経験を有する組織及び地元組織とのパートナーシップ、ネットワーキング、政策アドボカシー）

- 第3回国連防災世界会議に向けたプロセス（UNDP、Gender Action Platform、オックスファム・ジャパンによる勉強会、仙台での国際協力 NGO/国連共催によるサイドイベント企画）

3. 次世代に向けて

- 途上国支援をきっかけに「自分の足元の世界」を見直す

例： プラン・ジャパンの Because I am a Girl キャンペーン、ジョイセフ、オックスファム・ジャパン

- グローバル人材の必須知識・行動規範としての「ジェンダー平等」

例： ジェンダー論受講の動機 → グローバルに活躍したいから

例： アベノミクスの背景を理解する → 安倍総理の国外での演説・国際公約(国連総会、ダボス会議、ウォール街、NATO 理事会など)、世界経済フォーラム、OECD、IMF、ゴールドマンサックス等による報告書

- SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の活用

例： 「国連女性差別撤廃条約を同世代の女性たちに広めるには？」(大学生)

例： 都議会ヤジへの抗議に9万人が署名(change.org) → 院内ワークショップ → SNS でのネットワーク